

2年連続全国大会出場

春季全日本小学生ソフトボール大会

習志野スーパーガールズ

習志野市選抜の小学ソフトボールチーム「習志野スーパーガールズ」は、来年3月26日から愛媛県で開かれる「第15回春季全日本小学生女子ソフトボール大会」出場を決めた。

習志野スーパーガールズは市内の小学生ソフトボールチームに所属する選抜選手で構成されている。コロナ禍にあっても練習を積み重ね、昨年に続き、全国大会への出場を勝ち取った。全国大会には各都道府県代表の48チームが参加する。平成28(2016)年に結成されて以来、習志野スーパーガールズの春季全日本大会出場は2年連続4回目。



優勝の五中

千葉県代表を決める「第15回春季全日本小学生ソフトボール大会」第32回関東小学生選抜男女ソフトボール大会千葉県予選会(勝又杯)は11月6日と7日、男女にわかれ、習志野市袖ヶ浦運動公園と西浜公園緑地多目的広場で開催された。大会は千葉県ソフトボール協会が主催。5年生以下の選手が出場した。



好投する習志野スーパーガールズの西沢投手

五中が攻守に勝利V

中学ソフトボール秋季大会

中学校ソフトボールの習志野市秋季大会が10月24日と30日、第七中学校で開かれた。

予選リーグと決勝トーナメント戦が行われ、五中が優勝を飾った。大会は令和3年度習志野市中学校新人体育大会の代替大会として催された。

決勝戦はともに予選リーグ1位の五中と七中との対戦となった。先制したのは五中。五中は1回裏、四球の1番押尾が盗塁。3番石橋が中前安打と盗塁で、

島の代走・池上を返し一挙3点。さらに3番田中は内野安打と連続盗塁。4番大橋の中越二塁打で1点を加え、この回4点先取。4回表には、相手エラー、7番中村の中前安打などで2点を追加。5回表にも2番西沢の内野安打、5番加藤の中越三塁打、6番高久の中前適時打でさらに2点を加えて8-0。投手・西沢は最終5回までに2四球はあったものの、無安打、12三振のノーヒットノーランで勝利した。

習志野スーパーガールズの西沢美和キャプテンは「コロナ禍もあり、新チームで初練習ができたのは10月半ばでした。大会まであまり時間がなく、優勝できるか自信がありませんでした。しかし、時間がない中でチームのみんなが必死に練習し、チーム一丸となって優勝することができました。」

死走者二、三塁とし、4番佐藤の左前安打で押尾がかかる。七中の得点機は3回表。一死から8番D.P.の菅野が内野ゴロエラーで出塁。二死となるが、1番丸野の右前安打は長打となり、走者一、三塁とし、2番小林の内野安打で菅野がかえり、同点とする。

しかし、3回裏の五中は四球の押尾が盗塁と捕逸で三塁へ進む。続く2番足田も四球と盗塁で無死走者二、三塁とし、石橋は内野ゴロだが、押尾がかえり、

た。3月の全国大会では、一つでも多く勝って、優勝できるようにがんばりますので、応援よろしくお願ひします」と語った。

▽決勝戦

| | | | | | | |
|-------------|---|---|---|---|---|---|
| 習志野スーパーガールズ | 0 | 0 | 4 | 2 | 2 | 8 |
| ミルキーエンジェルス | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |



2年連続4回目の春季全日本大会出場を決めた習志野スーパーガールズ

「少年野球写真展」

モリシア津田沼で開催中

球児たちの活躍を紹介



3日間にわたり、熱戦が繰り広げられた。モリシア津田沼1階センターコート隣のキッズスペース「コードモパーク」では、懸命にプレーした球児たちや仲間を応援する姿などが700枚以上の写真で紹介されている。

モリシア津田沼では「第36回モリシア杯習志野市小学校区対抗少年野球大会」の様子を納めた「モリシア杯少年野球写真展」を12月26日(予定)まで開催している。



4以内に入り、全国優勝です。全員が同じ気持ちで戦い、勝利をつかむので応援よろしくお願ひします」と話した。五中は県新人大会で準優勝となった。

大会結果は次の通り。

| | | | | | |
|-----------|----|------|-----|----|-----|
| ▽予選Aリーグ | 五中 | 10-0 | 一中 | 七中 | 8-4 |
| ▽予選Bリーグ | 五中 | 6-0 | 三中 | 五中 | 4-0 |
| ▽決勝トーナメント | 五中 | 0-1 | 〇〇三 | 五中 | 0-0 |
| ▽準決勝戦 | 五中 | 0-1 | 〇〇三 | 五中 | 0-0 |
| ▽1回戦 | 五中 | 1-0 | 〇〇三 | 五中 | 0-0 |
| ▽決勝戦 | 五中 | 1-0 | 〇〇三 | 五中 | 0-0 |